

# 今年の最終決戦に向けトップ選手が見所を語る

NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報

## 日本国内の有力選手133名が、首都東京・お台場に集結

翌10月21日(日)に開催されるNTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦／第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報に先立ち、20日(土)に東京・港区の有明フロンティアビルで有力選手の記者会見が行われた。司会は、山本光宏JTU事業広報委員会副委員長。

出席した女子選手はナショナルチームの上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本)、井出樹里(トーシン・日東紅茶・TEAM KEN'S)の3名。男子選手はナショナルチームから田山寛豪(チームテイケイ)、山本良介(トヨタ車体)、細田雄一(ウイダー)と、昨年同大会で2位と健闘した杉本宏樹(チームテイケイ)の4名。

最初に各選手からレースへの意気込みと抱負が語られたあと、記者からの質問に移った。

「明日のレースでの、注目点はどこか」という問いに対し、田山は「最初から最後まで見逃さないで見てほしい。特にランでの仕掛け時にも注目してほしい」、山本は「勝つことへの執着心を見てもらいたい」と答えた。



山本光宏JTU広報委員と、記者会見に参加した有力選手7名

田山 寛豪  
(チームテイケイ)



明日の大会では北京オリンピックに向けて、自信がもてるような積極的なレース展開をしたい。所属しているチームや、生まれ故郷の茨城県からもたくさんの応援が来る。その声援をバネに4度目の優勝に向けて頑張りたいと思う。

上田 藍  
(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)



この大会は石垣島大会、アジア選手権、世界選手権、北京のワールドカップに次いで重要視している大会。今回は、本番力を出すことを目標に、しっかりと優勝できるように高地トレーニングも積んだ。明日はその結果のついてくる走りができるよう、頑張りたい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



## 今年の最終決戦に向けトップ選手が見所を語る

NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報

また上田は、有力選手であった庭田清美(アシックス・ザバス)が参加できないことにも触れ、「庭田選手は自分でレースを展開できる選手なので、共に競いながらもいつも学ばせてもらった。来年の北京オリンピックに向けて、今回は海外の選手も戦っているつもりで挑みたい。最後は得意なランで勝利をたぐり寄せられるようなレースにしたいと思う」と語った。

さらに、「明日、自分がレースに参加できないとしたら誰が優勝すると思うか」との質問には、山本、細田、杉本は揃って「田山」と答えた。その田山は、「雨だったら山本良介選手、寒かったら杉本選手、バイクで少数の逃げがあれば細田選手」と答えた。

また、上田が「ウエットスーツ着用になれば関根選手、禁止ならば井出選手」、関根は「上田選手か井出選手」、井出は「ラン勝負になれば上田選手、関根選手でデッドヒートとなる」と予想した。

明日には、互いの意地とプライドをかけた白熱したレースが予想される。東京港大会は女子が午前8時40分、男子が午前11時00分にお台場の浜辺からスタートする。



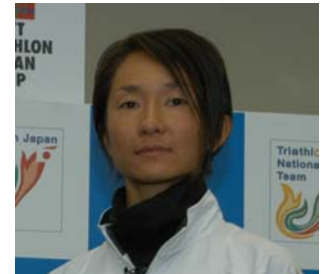
和やかな雰囲気の中で行われた記者会見。決戦は明日に迫っている

山本 良介  
(トヨタ車体)



「東京港大会で勝つ」ことだけを目指して今年はやってきた。明日のレースで勝ち、日本選手権、NTTジャパンランキングのシリーズチャンピオンという2大タイトルを制して、自分の自信にしたい。それを北京オリンピックへのステップとしたい。

関根 明子  
(NTT東日本・NTT西日本)



人を頼らず、自分でレースを組み立てて積極的な走りができるようにしていきたい。庭田選手が参加できないことは残念。勢いのある上田選手、井出選手やスイムの得意な若手の選手たちに対して、最後まで粘り強くランで追い上げていける展開に持ち込みたい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

